



孤独



雨

伊藤すいか

孤独

雨

目次

道

車の下

ビニールの安い傘を差し

コンビニに向かう

静かな雨がサンダルの素足を濡らす

建売住宅の門灯が

幸せな家庭を思わせる

今日は何本飲んでもいいだろう

自分の甘さとの付き合いは長い

側溝から長い草が生えている

コンビニまではもう少し

灰と白色の猫を見かけなくなった

いつも夜は近くのアパートの車の下

子猫でもないのに

鳴き声は子猫のようだった

野良猫なのに

人を警戒する気配はなく

子供たちに寄って行くのを

何度も見掛けた

また会えるかな

孤独
雨

<http://p.booklog.jp/book/110316>

著者：伊藤すいか

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/neko1969/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/110316>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/110316>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ